

(事例74) 52歳男性、糖尿病コントロール不良のため交代制勤務禁止

類型	症候	疾患
1、2、3	1. 高血糖	9. 糖尿病

きっかけ	<input checked="" type="checkbox"/> 健康診断の有所見	<input type="checkbox"/> その他の機会
<p>1. 対象者のプロフィール</p> <p>1) 年齢、既往歴 52歳男性 糖尿病自己中断</p> <p>2) 業種、作業内容 交代制勤務、製造・検査</p>		
<p>2. 就業制限・配慮の対象となった疾病、健診値異常 例) 高血圧、HbA1c 高値、腰痛など 糖尿病 HbA1c 高値</p>		
<p>3. 就業制限・配慮の内容 例) 高所作業禁止、出張禁止、残業禁止、配置転換、治具導入など 交代制勤務禁止 (定期健診で HbA1c 高値 (11.7) を認めたため、治療再開し、治療目標 (6.5) 以下にコントロールできるまでは交代勤務を禁止とした。)</p>		
<p>4. 事例の詳細 (背景、経緯、特に考慮した事情など)</p> <p>定期健診で HbA1c 高値であり措置を開始した。当初、本人が抵抗することを予想していたが、予想に反して素直に受け入れた。後に分かったことだが、本人は元々交代勤務から外れたがっていたことだった。上司に報告したところ、こちらも特に反対なく受け入れられた。現在、本人は治療再開し、日勤業務に従事しつつ、通院継続中。</p>		
<p>5. 就業制限・配慮の主な目的 (複数回答可)</p> <p>1 業務が当該労働者の健康、安全、疾病経過、予後に影響を与える可能性があったため</p> <p>2 企業リスクが予見されたため (交通事故、公衆災害の発生など)</p> <p>3 健康管理を促進するため (受診、治療を強く進めるため)</p>		
<p>6. 就業制限を実施するにあたって注意した事、阻害要因、問題点などあれば教えて下さい</p> <p>+交代勤務を禁止にすることで、職場にしわ寄せが生じることはないか。</p> <p>+本人が就業制限に強く反対した場合、キチンとした根拠を説明して納得して頂く必要がある。</p>		